



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月7日

上場会社名 はごろもフーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2831 URL <https://www.hagoromofoods.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 佐恵子  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経営企画本部長 (氏名) 川隅 義之 TEL 054-288-5200  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月7日 配当支払開始予定日 2022年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	35,609	0.7	37	△98.2	168	△92.3	84	△95.3
2022年3月期第2四半期	35,359	0.6	2,014	△21.5	2,195	△22.1	1,815	△12.8

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 64百万円 (△96.8%) 2022年3月期第2四半期 2,017百万円 (△17.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	9.02	—
2022年3月期第2四半期	192.90	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	62,967	34,759	55.2	3,693.66
2022年3月期	61,231	34,930	57.0	3,711.85

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 34,759百万円 2022年3月期 34,930百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2023年3月期	—	25.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	△2.1	△1,300	—	△1,000	—	△1,200	—	△127.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	10,325,365株	2022年3月期	10,325,365株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	914,754株	2022年3月期	914,754株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	9,410,611株	2022年3月期2Q	9,410,715株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、業績の進捗に応じ予想を修正することがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報) .....	9
3. 2023年3月期第2四半期決算短信(連結) 補足説明 .....	10
(1) 売上高・利益の増減要因等 .....	10
(2) 販売費及び一般管理費の内訳 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の制限の緩和がさらに進みました。一方でロシアによるウクライナ侵攻の長期化や、急激な円安の進行により先行き不透明な状況が続きました。

食品業界においては、ワクチン接種の進展等により外食需要は回復基調にありましたが、原油および穀物相場高騰の影響に起因した原材料やエネルギー価格の上昇による製品の価格改定が続き、お客様の節約志向がさらに強まり引き続き厳しい経営環境が続きました。

このような中、当社グループは、中期経営計画の優先課題である信頼感・安心感のある「はごろも」ブランドの確立に取り組み、消費者目線に立った健康志向や簡便性・利便性といった機能性を追求した製品の販売に注力しました。あわせて、販売促進活動の一つである「シーチキン食堂」のテレビコマーシャルと連携したメニュー提案により、さらなる需要喚起に努めました。また、販売が伸長しているデザートにおいて「朝からフルーツでモーニングルーティン」のWEB限定のコマーシャル動画を公開し、新たな販売活動を通して新規ユーザーの獲得を図りました。一方でまぐろ・かつお・小麦粉等原材料価格の高騰にともない、ツナやパスタ等製品の価格改定を実施しました。

この結果、家庭用製品の販売は価格改定による買い控え等の影響を受けて減少しましたが、業務用製品の販売は、各種給食やコンビニエンスストア向けの需要が引き続き順調に回復したこと等により増加したため、当連結累計期間の売上高は356億9百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

利益面では、原材料価格の高騰や急速な円安の進行等により売上原価率が上昇したこと等から、営業利益は37百万円（同98.2%減）、海外関連会社の持分法による投資利益が減少したこと等により、経常利益は1億68百万円（同92.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は84百万円（同95.3%減）となりました。

なお、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていませんが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高（連結）

（単位：千円、%）

製品群		前年同期		当第2四半期		増減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率	
製品	家庭用食品	ツナ	16,385,668	46.3	16,134,573	45.3	△251,095	△1.5
		デザート	2,928,326	8.3	3,081,634	8.7	153,308	5.2
		パスタ&ソース	2,894,982	8.2	2,986,753	8.4	91,771	3.2
		総菜	3,401,611	9.6	3,268,101	9.2	△133,509	△3.9
		削りぶし・のり・ふりかけ類	1,670,866	4.7	1,624,038	4.6	△46,828	△2.8
		ギフト・その他食品	1,354,472	3.8	1,325,079	3.6	△29,393	△2.2
		計	28,635,927	80.9	28,420,181	79.8	△215,745	△0.8
	業務用食品	5,683,587	16.1	6,029,306	16.9	345,719	6.1	
	ペットフード・バイオ他	838,706	2.4	975,262	2.8	136,556	16.3	
	計	35,158,221	99.4	35,424,751	99.5	266,529	0.8	
その他	200,815	0.6	184,837	0.5	△15,978	△8.0		
合計	35,359,036	100.0	35,609,588	100.0	250,551	0.7		

「ツナ」では、高たんぱく・低脂質・低糖質という健康面を訴求した「オイル不使用シーチキン」シリーズや、開けやすく後片付けに便利なパウチタイプの「シーチキンSmile」シリーズが好調でしたが、主力の油漬缶詰がコロナ禍での需要拡大の一服と、価格改定による買い控え等の影響を受けて苦戦し、売上高は前年同期比1.5%減少しました。

「デザート」では、コロナ禍でフルーツ缶詰等の利便性が改めて支持され、引き続き「朝からフルーツ」缶詰やみかん缶詰、さらにフルーツパウチが好調で、売上高は同5.2%増加しました。

「パスタ&ソース」では、パスタはデュラム小麦粉の高騰等による価格改定を実施した中で、コロナ禍でパスタの利便性が認知されていること等により結束タイプのスパゲッティ「ポポロスパ」が伸長し、さらに8月に新発売した強力粉とデュラムセモリナを配合しもちり食感を実現した「ポポロスパやんわか8分」が好調でした。ソースは「ミートソース」シリーズが好調で、売上高は同3.2%増加しました。

「総菜」では、さば・さんま・いわし等の青魚パウチ製品が好調でしたが、価格改定を実施した調理素材品や「シャキッとコーン」シリーズが低調で、売上高は同3.9%減少しました。

「削りぶし・のり・ふりかけ類」では、ふりかけや味付けのり等は好調でしたが、削りぶしやきざみのりの販売が低調で、売上高は同2.8%減少しました。

「ギフト・その他食品」では、電子レンジで簡単に調理可能な包装米飯「パパッとライス」が引き続き好調でしたが、贈答品市場の回復が進まずギフトが低調で、売上高は同2.2%減少しました。

「業務用食品」では、各種給食やコンビニエンスストア向けの需要が順調に回復したこと等により、売上高は同6.1%増加しました。

「ペットフード・バイオ他」では、引き続きペットフード市場の拡大により、新製品を投入した添加物不使用のペットフード「無一物」シリーズが好調で、売上高は同16.3%増加しました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の内容

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より17億36百万円増加して、629億67百万円となりました。これは主に、現金及び預金が15億9百万円、流動資産のその他が3億1百万円減少したものの、原材料及び貯蔵品が10億31百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が9億18百万円、商品及び製品が8億83百万円ならびに建物及び構築物（純額）が7億6百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より19億7百万円増加して、282億8百万円となりました。これは主に、未払金が10億54百万円、未払法人税等が4億16百万円、長期借入金が2億41百万円ならびに固定負債のその他が1億56百万円それぞれ減少したものの、支払手形及び買掛金が25億48百万円、流動負債のその他が13億10百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より1億71百万円減少して、347億59百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が3億1百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が2億81百万円、利益剰余金が1億50百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の57.0%から55.2%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、15億9百万円減少し、20億24百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動により減少した資金は28百万円（前年同期は33億60百万円の増加）となりました。これは主に、仕入債務の増加や減価償却費の計上があったものの、棚卸資産の増加や未払金の減少があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動により減少した資金は9億67百万円（前年同期は10億82百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得支出によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動により減少した資金は5億13百万円（前年同期は5億11百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の返済や配当金の支払によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想については、2022年10月31日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表したとおりです。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,533,831	2,024,551
受取手形、売掛金及び契約資産	18,378,269	19,296,546
商品及び製品	9,006,839	9,890,499
仕掛品	65,707	42,596
原材料及び貯蔵品	2,449,198	3,480,738
その他	2,153,594	1,851,873
貸倒引当金	△2,738	△702
流動資産合計	35,584,701	36,586,104
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,389,226	8,095,296
土地	3,487,847	3,544,008
その他(純額)	4,465,524	4,534,601
有形固定資産合計	15,342,598	16,173,907
無形固定資産	409,223	424,136
投資その他の資産		
投資有価証券	8,799,459	8,692,334
退職給付に係る資産	566,861	576,497
その他	531,970	518,029
貸倒引当金	△3,250	△3,250
投資その他の資産合計	9,895,041	9,783,611
固定資産合計	25,646,863	26,381,655
資産合計	61,231,564	62,967,759
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,568,861	15,117,093
1年内返済予定の長期借入金	482,688	482,688
未払金	5,646,898	4,592,468
未払法人税等	516,321	99,734
賞与引当金	396,438	378,165
その他	916,612	2,227,176
流動負債合計	20,527,820	22,897,325
固定負債		
長期借入金	3,198,853	2,957,509
役員退職慰労引当金	812,198	749,561
退職給付に係る負債	12,502	11,173
その他	1,749,399	1,592,569
固定負債合計	5,772,953	5,310,814
負債合計	26,300,774	28,208,139

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,527	942,527
利益剰余金	30,630,426	30,480,001
自己株式	△2,163,143	△2,163,143
株主資本合計	30,851,480	30,701,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,820,843	3,539,107
繰延ヘッジ損益	188,406	135,860
為替換算調整勘定	△43,492	257,804
退職給付に係る調整累計額	113,551	125,791
その他の包括利益累計額合計	4,079,309	4,058,564
純資産合計	34,930,790	34,759,620
負債純資産合計	61,231,564	62,967,759

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	35,359,036	35,609,588
売上原価	26,815,849	29,135,383
売上総利益	8,543,187	6,474,205
販売費及び一般管理費	6,529,091	6,437,070
営業利益	2,014,096	37,135
営業外収益		
受取利息	2	10
受取配当金	97,929	111,143
持分法による投資利益	31,384	—
仕入割引	20,602	20,038
賃貸料収入	34,557	33,662
その他	27,035	28,012
営業外収益合計	211,512	192,867
営業外費用		
支払利息	7,064	6,273
賃貸収入原価	15,603	14,461
持分法による投資損失	—	28,589
その他	7,654	11,957
営業外費用合計	30,323	61,281
経常利益	2,195,285	168,720
特別利益		
固定資産売却益	5,741	2,737
補助金収入	349,041	—
受取補償金	52,298	—
特別利益合計	407,081	2,737
特別損失		
貸倒引当金繰入額	54	—
固定資産除却損	2,793	960
固定資産売却損	—	6,076
特別損失合計	2,848	7,037
税金等調整前四半期純利益	2,599,518	164,421
法人税等	784,206	79,581
四半期純利益	1,815,312	84,839
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,815,312	84,839



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,815,312	84,839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	133,614	△281,736
繰延ヘッジ損益	△47,450	△52,545
退職給付に係る調整額	2,558	△1,021
持分法適用会社に対する持分相当額	113,064	314,558
その他の包括利益合計	201,785	△20,745
四半期包括利益	2,017,097	64,094
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,017,097	64,094
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,599,518	164,421
減価償却費	807,921	830,506
受取利息及び受取配当金	△97,931	△111,154
支払利息	7,064	6,273
為替差損益(△は益)	520	3,675
持分法による投資損益(△は益)	△31,384	28,589
補助金収入	△349,041	—
受取補償金	△52,298	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,975,874	△918,277
棚卸資産の増減額(△は増加)	△761,990	△2,105,914
未収入金の増減額(△は増加)	513,480	201,387
仕入債務の増減額(△は減少)	1,627,305	2,548,231
未払金の増減額(△は減少)	△1,457,329	△1,863,492
未払消費税等の増減額(△は減少)	519,874	△277,163
その他	1,838,971	1,846,436
小計	3,188,806	353,520
利息及び配当金の受取額	97,931	111,154
利息の支払額	△6,922	△6,226
法人税等の支払額	△398,957	△486,543
補助金の受取額	354,291	—
補償金の受取額	125,762	—
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,360,912</b>	<b>△28,094</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,054,139	△934,177
投資有価証券の取得による支出	△2,219	△2,280
その他	△25,699	△31,023
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,082,058</b>	<b>△967,481</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△241,344	△241,344
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△34,951	△36,948
自己株式の取得による支出	△272	—
配当金の支払額	△235,268	△235,265
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△511,836</b>	<b>△513,558</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△202	△146
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,766,815	△1,509,280
現金及び現金同等物の期首残高	2,558,478	3,533,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,325,294	2,024,551

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の決算短信の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)の記載から重要な変更はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

3. 2023年3月期 第2四半期決算短信(連結) 補足説明

(1) 売上高・利益の増減要因等

(単位：百万円、%)

	前年同期		当第2四半期		前年同期比		前年同期比増減要因等
	金額	率	金額	率	金額	率	
売上高	100.0 35,359		100.0 35,609		250	100.7	販売函数 △233千函 △ 2.3% 製品群別売上高 ・ツナ △251百万円 △ 1.5% ・デザート +153 + 5.2 ・パスタ&ソース + 91 + 3.2 ・総菜 △133 △ 3.9 ・業務用食品 +345 + 6.1 ・ペットフード・ バイオ他 +136 +16.3
売上原価	75.8 26,815		81.8 29,135		2,319	108.6	・売上原価率 +6.0ポイント
売上総利益	24.2 8,543		18.2 6,474		△2,068	75.8	
販売費及び一般管理費	18.5 6,529		18.1 6,437		△92	98.6	・販売奨励金 + 82百万円 + 7.4% ・広告宣伝費 △150 △20.2 ・荷造運賃・保管料 + 48 + 2.7 ・研究開発費 △ 8 △ 6.7
営業利益	5.7 2,014		0.1 37		△1,976	1.8	
営業外損益	0.5 181		0.4 131		△49	72.6	・持分法による投資損益 △ 59百万円 ・受取配当金 + 13
経常利益	6.2 2,195		0.5 168		△2,026	7.7	
特別損益	1.2 404		△0.0 △4		△408	-	前期・補助金収入 349百万円計上
税金等調整前四半期純利益	7.4 2,599		0.5 164		△2,435	6.3	
法人税等	2.3 784		0.3 79		△704	10.1	
親会社株主に帰属する四半期純利益	5.1 1,815		0.2 84		△1,730	4.7	
設備投資額	1,088	1,684	596	154.8	無形固定資産含む		
減価償却費	807	830	22	102.8	無形固定資産分含む		

(2) 販売費及び一般管理費の内訳

(単位：百万円、%)

	前年同期	当第2四半期	増減額	前年同期比
販売奨励金	1,119	1,201	82	107.4
広告宣伝費	743	593	△150	79.8
荷造運賃・保管料	1,782	1,830	48	102.7
給料・賞与(引当金繰入額含む)	1,034	999	△35	96.6
退職給付費用	71	73	1	102.2
研究開発費	130	122	△8	93.3
その他	1,646	1,616	△29	98.2
合計	6,529	6,437	△92	98.6